

# 「きぬむすめ」を新たに岡山県の 水稻奨励品種に選定しました

左:ヒノヒカリ 右:きぬむすめ



「きぬむすめ」の特性

品種名	きぬむすめ	ヒノヒカリ
成熟期 (月/日)	10/5	10/11
稈長 (cm)	83	83
子実収量 (kg/10a)	549	530
外観品質 (1~9:小さいほど 良質)	4.6	5.7
食味値 (HON:大きいほど 良食味)	75	69

## 開発のねらい

県中北部では、「コシヒカリ」と「ヒノヒカリ」の間に収穫できる中生品種が要望されていました。そこで、多収で作りやすく極良食味の「きぬむすめ」を選定しました。

## 新技術の概要

- 「きぬむすめ」は、成熟期が「日本晴」より3日程度遅く、「ヒノヒカリ」より6日程度早い中生品種です。
- 耐倒伏性は「日本晴、ヒノヒカリ」と同程度の「強」で作りやすいです。
- 「日本晴、ヒノヒカリ」と比較して、穂数は同等~やや少なく、千粒重はやや小さい。精玄米収量はおおむね同等か優れています。
- 「日本晴、ヒノヒカリ」より外観品質は優れており、食味は「コシヒカリ」並の極良食味です。

## 活用場面

中北部への適応性試験を重ね、「きぬむすめ」を岡山県の奨励品種に選定しました。「きぬむすめ」は山陽本線より北の「ヒノヒカリ」が栽培できる中北部が適地で、美味しい岡山米の供給に貢献します。